

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|-----------|---|---------------|--|---|--|------|
| ①紙類 | | | | | | |
| (9) | 情報用紙 | | |  | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | コピー用紙 | 1 | 製品に表示(または証明)される総合評価値が80以上であること。 <古紙パルプ配合率、森林認証材・間伐材等パルプ利用割合、白色度及び坪量を算定式※1により総合的に評価> | | | |
| | フォーム印刷 | 2 | 古紙パルプ配合率70%以上かつ白色度70%程度以下。 塗工量が両面で12g/㎡以下。 | | | |
| | インクジェットカラープリンター用塗工紙 | 3 | 古紙パルプ配合率70%以上。 塗工量が両面で20g/㎡以下、片面12g/㎡以下。 | | | |
| | 印刷用紙 | | | | | |
| | 1色刷り(非塗工紙) | 4 | 総合評価値80以上。 <古紙パルプ配合率、森林認証材・間伐材等パルプ利用割合、白色度を算定式※2により総合的に評価> 【古紙パルプ配合率100%かつ白色度70%程度以下・古紙パルプ配合率70%かつ間伐材パルプ30%配合等が適用。】 | | | |
| | 多色刷り(塗工紙) | 5 | 総合評価値80以上。 <古紙パルプ配合率、森林認証材・間伐材等パルプ利用割合、塗工量を算定式※2により総合的に評価> (ただし当面は、できるだけ判断基準に近いものを購入するものとする。) | | | |
| | 封筒(クラフト) | 6 | 古紙パルプ配合率40%以上。 | | | |
| | 窓あき封筒 | 7 | ・古紙パルプ配合率40%以上。(窓部分に紙を使用している場合、窓部分には不適用。) ・窓部分にプラスチック製フィルムを使用している場合は、窓フィルムについては再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上使用されていること。 | | | |
| | 衛生用紙 | | | | | |
| トイレットペーパー | 8 | 古紙パルプ配合率100%。 | | | | |
| ティッシュペーパー | 9 | 古紙パルプ配合率100%。 | | | | |
| ②納入印刷物 | | | | | | |
| (1) | 納入印刷物の仕様 (報告書類・ポスター・チラシ・パンフレット等の印刷物を対象とする) | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・①紙類の印刷用紙及び情報用紙に係る判断の基準を満たす用紙を使用すること。(ただし、冊子形状のものについては表紙は除く。) ☆非塗工紙…総合評価値80以上。 ☆塗工紙…総合評価値80以上。 (ただし当面は、できるだけ判断基準に近いものを購入するものとする。) ・植物由来の油を使用したインキを使用すること。(植物油インキ、大豆油インキなど。) ・オフセット印刷に使用するインキにおいて次の基準を追加。 バイオマスを含有したインキであって、かつ芳香族成分が1%未満の溶剤のみを用いるインキが使用されていること。 インキの化学安全性が確認されていること。 | | 当該年度に発注する印刷物の発注総数(金額)に占める基準を満たす用紙を使用した発注額の割合とする。 | 100% |

令和2年度特定調達品目一覧


【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|------|----------------|-------|---|-------------|--|------|
| ③文具類 | | | | | | |
| (77) | 文具共通 | | <p>【主要材料がプラスチックの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生プラスチックが、プラスチック重量の40%以上。 ・植物を原料とするプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の20%以上。 <p>【主要材料が木の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐材、端材等の再生資源又は合法材。 <p>【主要材料が紙の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古紙パルプ配合率50%以上。 ・バージンパルプの合法性の担保 <p>製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。</p> <p>使用される塗料は、有機溶剤及び臭気が可能な限り少ないものであること。</p> | | | |
| | シャープペンシル | 11 | | | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | シャープペンシル替芯 | 12 | | | | |
| | ボールペン | 13 | | | | |
| | マーキングペン | 14 | | | | |
| | サインペン | 15 | | | | |
| | 鉛筆 | 16 | | | | |
| | 定規 | 17 | | | | |
| | トレー | 18 | | | | |
| | 連射式クリップ(本体) | 19 | 主要材料がプラスチックの場合、再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) | | | |
| | ファイル | 20 | 主要材料が紙の場合、古紙パルプ配合率70%以上。又は、間伐材パルプを配合かつ古紙パルプ配合。 | | | |
| | バインダー | 21 | 樹脂製とじ具で廃棄時に分別可能。 | | | |
| | クリヤーホルダー | 22 | 文具類共通の判断基準を満たすこと。又は、植物を原料とするプラスチックを使用。 | | | |
| | クリヤーブック | 23 | | | | |
| | カードケース | 24 | | | | |
| | 綴込表紙 | 25 | 芯材が古紙パルプ配合率70%以上。 | | | |
| | 工事用アルバム(台紙を含む) | 26 | 表紙が古紙パルプ配合率50%以上。 | | | |
| | 用箋挟 | 27 | 芯材が古紙パルプ配合率70%以上。又は、廃棄時に分別可能。 | | | |
| | インデックス | 28 | 主要材料が紙の場合、紙の原料が古紙パルプ配合率70%以上。(粘着剤はできるだけ可溶性粘着材を使用し、樹脂ラミネート加工がされていないこと。) | | | |
| | OHPフィルム | 29 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・再生プラスチック配合率30%以上。 ・植物を原料とするプラスチック使用。 | | | |
| | 修正液 | 30 | [判断の基準は容器に適用] | | | |



令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|----|----------------|-------|--|---|--------|------|
| | 修正テープ | 31 | 主要材料がプラスチックの場合、再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) 消耗品が交換できること。 |  | | |
| | 消しゴム | 32 | [判断の基準は巻紙(スリーブ)又はケースに適用] | | | |
| | 付箋紙 | 33 | 主要材料が紙の場合、紙の原料が古紙パルプ配合率70%以上。(粘着剤はできるだけ可溶性粘着材を使用し、樹脂ラミネート加工がされていないこと。) | | | |
| | ノート | 34 | ・古紙パルプ配合率70%以上。 ・塗工されているものにあつては、塗工量が両面で30g/m ² であること又は塗工されている印刷用紙に係る判断の基準を満たすこと。 ・塗工されていないものにあつては、白色度が70%以下であること。 | | | |
| | メモ帳 | 35 | 古紙パルプ配合率70%以上。 | | | |
| | ステープラー(汎用型) | 36 | [汎用型とは10号針使用のハンディタイプ] 主要材料がプラスチックの場合、再生プラスチック配合率70%以上。 | | | |
| | ステープラー(汎用型以外) | 37 | | | | |
| | のり(固形)(補充用を含む) | 38 | [判断の基準は容器・ケースに適用] 消耗品が交換できること。 | | | |
| | のり(液体)(補充用を含む) | 39 | [判断の基準は容器に適用] 内容物が補充できること。 | | | |
| | のり(テープ) | 40 | [判断の基準は容器・ケースに適用] 消耗品が交換できること。 | | | |
| | カッターナイフ | 41 | | | | |
| | はさみ | 42 | 廃棄時に分別可能。 | | | |
| | マグネット(玉・バー) | 43 | | | | |
| | スタンプ台 | 44 | 主要材料がプラスチックの場合、再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) | | | |
| | 朱肉 | 45 | インク又は液が補充できること。 | | | |
| | つづりひも | 46 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・主要材料が紙の場合、紙の原料が古紙パルプ配合率70%以上。 ・主要材料がプラスチックの場合、再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) | | | |
| | ペーパーパッチ | 47 | 可溶性粘着材使用、または、再生処理可能。 | | | |
| | マチ付封筒 | 48 | 古紙パルプ配合率40%以上。 | | | |
| | テープカッター | 49 | | | | |
| | パンチ | 50 | | | | |
| | レターケース | 51 | | | | |
| | ブックスタンド | 52 | 主要材料がプラスチックの場合、再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) | | | |
| | 鉛筆削(手動) | 53 | | | | |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|----|------------------|-------|--|-------------|--------|------|
| | OAクリーナー(ウェットタイプ) | 54 | [判断の基準は容器に適用] 主要材料がプラスチックの場合、 再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) 内容物が補充できること。 | | | |
| | OAクリーナー(液タイプ) | 55 | [判断の基準は容器に適用] 内容物が補充できること。 | | | |
| | マウスパット | 56 | | | | |
| | ごみ箱 | 57 | 主要材料がプラスチックの場合、 再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) | | | |
| | ガムテープ(クラフト) | 58 | テープ基材、古紙パルプ配合率40%以上。 | | | |
| | ガムテープ(布) | 59 | テープ基材(ラミネート層を除く。)、再生プラスチック配合率40%以上。 | | | |
| | 回転ゴム印 | 60 | | | | |
| | ステープラー針リムーバー | 61 | | | | |
| | ペンスタンド | 62 | | | | |
| | クリップケース | 63 | | | | |
| | 紙めくりクリーム | 64 | [判断の基準は容器に適用] | | | |
| | OAフィルター(枠あり) | 65 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・文具類共通の判断基準を満たすこと。 ・枠部は、再生プラスチックが枠部全体重量の50%以上使用されていること。 | | | |
| | カッティングマット | 66 | | | | |
| | デスクマット | 67 | | | | |
| | 絵筆 | 68 | 主要材料がプラスチックの場合、 再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。) | | | |
| | タックラベル | 69 | 主要材料が紙の場合、紙の原料が古紙パルプ配合率70%以上。 (粘着剤はできるだけ可溶性粘着材を使用し、樹脂ラミネート加工がされていないこと。) | | | |
| | 黒板拭き | 70 | | | | |
| | ホワイトボード用イレイザー | 71 | | | | |
| | 額縁 | 72 | | | | |
| | 缶・ボトルつぶし機(手動) | 73 | | | | |
| | 名札(衣服取付・首下げ型) | 74 | | | | |
| | 丸歯式紙裁断機 | 75 | | | | |
| | 両面粘着紙テープ | 76 | テープ基材、古紙パルプ配合率40%以上。 | | | |
| | 製本テープ | 77 | [判断の基準はテープ基材に適用] | | | |



令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|------------|-------------------------|---|---|--|--|------|
| | メディアケース (CD、DVD、BD用) | 78 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・主要材料がプラスチックの場合、再生プラスチックが、プラスチック重量の70%以上。(ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックの場合は、プラスチック重量の35%以上。)それ以外の場合は、文具類共通の判断基準を満たすこと。 ・CD及びDVD用にあつては、厚さ5mm程度以下のスリムタイプケースであること。 ・植物を原料とするプラスチック使用。 |  | | |
| | ファイリング用品 | 79 | | | | |
| | ゴム印 | 80 | | | | |
| | 付箋フィルム | 81 | (粘着剤はできるだけ可溶性粘着材を使用。) | | | |
| | OAクリーナー(エアータイプ) | 82 | フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律で定められるフロン類(以下「フロン類」とする)が使用されていないこと、ただし、可燃性の高い物質が使用されている場合にあっては、製品に、その取扱いについて適切な記載がなされていること。 | | | |
| | 印箱 | 83 | | | | |
| | 鍵かけ | 84 | | | | |
| | チョーク | 85 | 再生材料が10%以上使用されていること。 | | | |
| | グランド用白線 | 86 | 再生材料が70%以上使用されていること。 | | | |
| | 梱包用バンド | 87 | ・主要材料が紙の場合、古紙パルプ配合率100%以上。 ・主要材料がプラスチックの場合、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックがプラスチック重量の25%以上。ただし、廃ペットボトルのリサイクル製品は除く。 | | | |
| ④オフィス家具等 | | | | | | |
| (11) | オフィス家具共通 | | <ul style="list-style-type: none"> ・修理や部品交換が容易である等、長期間の使用が可能な設計又は分解が容易である等部品の再使用や素材の再生利用が容易になるような設計がなされていること。 ・塗装に有機溶剤及び臭気の少ない塗料が使用されていること。 ・製品の包装は、可能な限り簡易であつて、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。また、包装材の回収及び再利用等が配慮されていること。 ・保守部品又は消耗品の供給期間は、当該製品の製造終了後5年以上とする。 |   | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| いす | 88 | 【主要材料がプラスチックの場合】 | | | | |
| 机 | 89 | ・再生プラスチックがプラスチック重量比10%以上又は植物を原料とするプラスチックが25%以上かつバイオベース合成ポリマー含有率が10%以上。 | | | | |
| 棚 | 90 | 【主要材料が木材の場合】 | | | | |
| 収納用什器(棚以外) | 91 | ・間伐材、端材等の再生資源又は合法材。 | | | | |
| ローパーティション | 92 | ・ホルムアルデヒドの放散速度が $0.02\text{mg}/\text{m}^3\text{h}$ 以下。 | | | | |
| 掲示板 | 93 | 【主要材料が紙の場合】 | | | | |
| 黒板 | 94 | ・古紙パルプ配合率50%以上。 ・バージンパルプの合法性の担保。 | | | | |
| ホワイトボード | 95 | 【大部分の材料が金属類(95%以上)の棚・収納用什器】 | | | | |
| 傘立て | 96 | ・棚板の機能重量が 0.1 以下。 | | | | |
| コートハンガー | 97 | ・単一素材分解可能率が90%以上。 | | | | |
| ベッドフレーム | 98 | <ul style="list-style-type: none"> ・主要原料がプラスチックの場合…再生プラスチックがプラスチック重量比10%以上。 ・主要原料が木材の場合…間伐材、端材等の再生資源又は合法材。ホルムアルデヒドの放散速度が$0.002\text{mg}/\text{m}^3\text{h}$以下。 ・主要原料が紙の場合…古紙パルプ配合率50%以上。バージンパルプの合法性の担保。 |   | | | |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|--------|-----------------------------------|-------|--|---|--|------|
| ⑤画像機器等 | | | | | | |
| (7) | 画像機器等共通 | | <ul style="list-style-type: none"> ・分解が容易であるなど、素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。 ・製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易性及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。または、包装材の回収及び再利用等が配慮されていること。 | | | |
| | コピー機 (コピー機・複合機・拡張性のあるデジタルコピー機) | 99 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価値80以上の用紙に対応可能。 ・新造機…国際エネルギースタープログラム適合 (Ver2.0)。特定の化学物質の使用制限。再生プラスチック部品又は再使用プラスチック部品の使用。 ・再生型機・部品リユース型機…国際エネルギースタープログラム適合。(Ver2.0) ・使用済み製品の回収及び部品の再使用または材料のマテリアルリサイクルのシステムがあること。また、改修した機器の再使用または再生利用できない部分については、減量化等が行われたうえで、適正処理され、単純埋立されないこと。 ・少なくとも25gを超える部品の一つに再生プラスチック部品又は再使用プラスチック部品が使用されていること。 |   | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | プリンタ | 100 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際エネルギースタープログラム適合 (Ver2.0)。 ・特定の化学物質が含有率基準値を超えないこと ・少なくとも部品の一つに再生プラスチック部品又は再使用プラスチック部品の使用 | | | |
| | ファクシミリ | 101 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際エネルギースタープログラム適合 (Ver2.0)。 | | | |
| | スキャナ | 102 | <ul style="list-style-type: none"> ・特定の化学物質が含有率基準値を超えないこと | | | |
| | トナーカートリッジ | 103 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用済カートリッジの回収システム。 ・回収部品の再使用・マテリアルリサイクル率がトナーカートリッジは50%以上、インクカートリッジは25%以上。 ・回収部品の再資源化率が95%以上。 ・回収部品のうち、再利用できない部分は適正処理され、単純埋立されないこと。 | | | |
| | インクカートリッジ | 104 | <ul style="list-style-type: none"> ・トナー又はインクの化学安全性が確認されている。(エコマーク認定品) ・特定調達物品の使用が可能であること。 ・感光体は、カドミウム、鉛、水銀、セレン及びその他の化合物を含まないこと。(トナーのみ) | | | |
| | プロジェクタ (5,000lm未満のプロジェクタ) | 105 | <ul style="list-style-type: none"> ・製品本体の重量が次の算定式を用いて算出された基準の数値を上回らないこと。 製品本体重量の基準(kg)=$0.0012 \times \Phi \times \alpha \times \beta$ Φ:有効光束(lm) α:超短焦点プロジェクタの場合は1.5、短焦点プロジェクタの場合は1.2、それ以外の場合は1.0 β:固体光源の場合は2.0それ以外の場合は1.0 ・消費電力が次の算定式を用いて算出された基準の数値を上回らないこと。 消費電力の基準(W)=$0.070 \times \Phi \times \alpha \times \beta + 85$ Φ:有効光束(lm) α:超短焦点プロジェクタの場合は1.2、短焦点プロジェクタの場合は1.1、それ以外の場合は1.0 β:固体光源の場合は1.5、それ以外の場合は1.0 ・待機時消費電力が0.5w以下であること。(2020年度までの経過措置) ・水銀ランプの使用に関する情報提供及び回収の仕組みがあること。 ・保守部品、消耗品の供給期間は、当該製品の製造終了後5年以上であること。 ・特定の化学物質が含有率基準値以下であり、含有情報が公表されていること。 |  | | |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|----------|---|-------|--|---|--|------|
| ⑥電子計算機等 | | | | | | |
| (4) | 電子計算機等共通 | | <ul style="list-style-type: none"> ・分解が容易であるなど、素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。 ・製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。または、包装材の回収及び再利用等が配慮されていること。 | | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | 電子計算機(パソコン) | 106 | <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費効率が、ア又はイのいずれかを満たすこと。 【サーバ型電子計算機】 ・省エネ法に基づくトップランナー基準達成率が80%以上。 【クライアント型電子計算機】 ア. 省エネ法に基づくトップランナー基準達成率70%以上であること。 イ. 国際エネルギースタープログラム(Ver7.0以上)の基準を満たすこと。 ・少なくとも筐体又は部品の一つに再生プラスチック又は植物を原料とするプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。 ・特定の化学物質が含有率基準値以下であり、含有情報が公開されていること。 |    | | |
| | 磁気ディスク装置 | 107 | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法トップランナー基準達成。 |  | | |
| | ディスプレイ | 108 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際エネルギースタープログラム適合(Ver7.0)。 ・動作開始時に自動的に使用可能状態になること。 ・特定の化学物質が含有率基準値以下であり、含有情報が公表されていること。 |   | | |
| | 記録用メディア (CD-R,CD-RW,DVD±R, DVD±RW,DVD- RAM,BD) | 109 | <p>[判断の基準はケースに適用] 次のいずれかを満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上使用されていること。 ・スリムタイプケース又はスピンドルタイプ。 ・植物由来のプラスチック使用。 ・紙製にあつては、古紙パルプ配合率70%以上であること。バージンパルプの合法性の担保 |  | | |
| ⑦オフィス機器等 | | | | | | |
| (5) | オフィス機器等共通 | | <ul style="list-style-type: none"> ・分解が容易であるなど、素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。 ・製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。または、包装材の回収及び再利用等が配慮されていること。 | | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | シュレッダー | 110 | <ul style="list-style-type: none"> ・待機電力の基準を満たすこと。 ・低電力モード又はオフモードを備える機器については、これらのモードへの移行時間が出荷時に10分以下に設定されていること |  | | |
| | デジタル印刷機 | 111 | <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費効率の基準を満たすこと。(エコマーク認定品) | | | |
| | 電子式卓上計算機 | 112 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用電力の50%以上が太陽電池から供給されるもの。(エコマーク認定品) ・再生プラスチック配合率40%以上。 ・特定の化学物質が含有率基準値を超えないこと。 | | | |
| | 掛時計 (講堂等で使用の大型は除く) | 113 | <p>次のいずれかを満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽電池式。(蓄電機能付きで一次電池不要) ・一次電池が5年以上使用可能。(エコマーク認定品) | | | |
| | 一次電池又は小形充電式電池(単1形～単4形) | 114 | <ul style="list-style-type: none"> ・一次電池はアルカリ相当以上のもの。(マンガン電池でないもの) ・小形充電式電池は充電式のニッケル水素電池等。 | | | |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 | |
|-------|------------------------------------|-------|--|---|--|--|------|
| ⑧移動電話 | | | | | | | |
| (3) | 携帯電話 | 115 | <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかを満たしていること。 <ul style="list-style-type: none"> 搭載機器・機能の簡素化(通話及びメール機能等に限定) アプリケーションのバージョンアップが可能。 環境配慮設計がなされていること。 |  | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% | |
| | PHS | 116 | <ul style="list-style-type: none"> 回収及びマテリアルリサイクルシステムがあること。 再使用できない部分は、適正処理されるシステムがあること。 バッテリー等の消耗品の修理システム(部品を6年以上保有※)があること。 特定の化学物質が含有率基準値を超えないこと。 | | | | |
| | スマートフォン | 117 | <ul style="list-style-type: none"> 製品にプラスチックが使用されている場合は、プラスチック重量に占める再生プラスチックの配合率及び植物を原料とするプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものの配合率の情報が開示されていること。また、ウェブサイト等で容易に確認できること。 ※スマートフォンについては、当面の間、消耗品等の保有期間を3年以上で可とする。 | | | | |
| ⑨家電製品 | | | | | | | |
| (6) | 家電製品共通 | | <ul style="list-style-type: none"> 資源有効利用促進法の判断基準をふまえ、製品の長寿命化・省資源化や素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。 再生プラスチック材が多く使用されていること。 製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。または、包装材の回収及び再利用等が配慮されていること。 | | | | |
| | 電気冷蔵庫等 (電気冷蔵庫・電気冷凍庫 電気冷凍冷蔵庫) | 118 | <ul style="list-style-type: none"> 統一省エネラベル「☆☆☆☆」以上(電気冷蔵庫及び電気冷凍冷蔵庫については省エネ基準達成率86%以上、電気冷凍庫については省エネ基準達成率90%以上) 冷媒及び断熱材発泡剤にフロン類が使用されていないこと。 特定の化学物質が含有率基準値以下であり、含有情報が公表されていること。 |  | ☆☆☆☆ または、☆☆☆☆ のもの。 | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | エアコンディショナー | 119 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭用エアコンの場合 <ul style="list-style-type: none"> 統一省エネラベル「☆☆☆☆」以上。 業務用エアコンの場合 <ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費効率が基本方針のエアコンディショナーの表3に示される区分ごとの数値の88%以上。 冷媒に使用される物質の地球温暖化係数は750以下であること。 特定の化学物質の含有基準値以下であり、含有情報が公表されていること。(※3参考) |  | 家庭用エアコンディショナーは、☆☆☆☆以上 | | |
| | 電気便座 | 120 | <ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費効率が基本方針の電気便座の表に示された区分ごとの基準エネルギー消費効率を上回らないこと。(※3参考) |  | | | |
| | ストーブ(ガス又は灯油燃料) | 121 | <ul style="list-style-type: none"> 省エネ法トップランナー基準達成。 |  | | | |
| | テレビジョン受信機 | 122 | <ul style="list-style-type: none"> 統一省エネラベル「☆☆☆☆」以上。(省エネ基準達成率198%以上) 39V型以下のものは「☆☆☆」(省エネ基準達成率149%以上)でも可(令和2年度も経過措置延長)。 リモコン待機時消費電力が0.5W以下であること。 特定の化学物質が含有率基準値以下であり、含有情報が公表されていること。 |  | ☆☆☆☆ または、☆☆☆☆ | | |
| | 電子レンジ(単体) | 123 | <ul style="list-style-type: none"> 省エネ法トップランナー基準達成。 待機時消費電力が0.05W未満であること 特定の化学物質が含有率基準値以下であり、含有情報が公表されていること。 |  | | | |






令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|-------|---------------------|-------|--|--|--|--|
| ⑩温水器等 | | | | | | |
| (4) | 温水器等共通 | | <ul style="list-style-type: none"> 分解が容易であるなど、素材の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。 再生プラスチック材が多く使用されていること。 製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。または、包装材の回収及び再利用等が配慮されていること。 | | | |
| | 電気給湯器 | 124 | <ul style="list-style-type: none"> 省エネ法トップランナー基準達成。 冷媒にフロン類が使用されていないこと。 業務用は年間加熱効率が3.20以上。 |  | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | ガス温水機器 | 125 | <ul style="list-style-type: none"> 潜熱回収型温水器についてエネルギー消費効率90以上を設定。 | | | |
| | 石油温水機器 | 126 | <ul style="list-style-type: none"> それ以外は省エネ法トップランナー基準達成。 | | | |
| | ガス調理機器 | 127 | | | | |
| | | | | | | |
| ⑪照明 | | | | | | |
| (4) | LED照明器具 | 128 | <ul style="list-style-type: none"> 投光器及び防犯灯を除くLED照明器具である場合は、次の要件を満たすこと。 固有エネルギー消費効率:昼光色(D)・昼白色(N)・白色(W)120lm/W以上。 温白色(WW)・電球色(L) 85lm/W以上。 平均演色評価数Raが80以上。 投光器である場合は、次の要件を満たすこと。 固有エネルギー消費効率:昼光色(D)・昼白色(N)・白色(W)105lm/W以上。 温白色(WW)・電球色(L) 90lm/W以上。 平均演色評価数Raが70以上。 防犯灯である場合は、次の要件を満たすこと。 固有エネルギー消費効率:昼光色(D)・昼白色(N)・白色(W)80lm/W以上。 平均演色評価数Raが70以上。 LEDモジュール寿命は40,000時間以上であること。 特定の化学物質の含有率が基準値以下であり、含有情報が公表されていること。 | - | 各品目ごとの当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | |
| | LEDを光源とした内照式表示灯 | 129 | <ul style="list-style-type: none"> 定格寿命30,000時間以上。 特定の化学物質の含有率が基準値以下。 | - | | |
| | 蛍光灯(大きさの区分40型直管蛍光灯) | 130 | <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかの要件を満たすこと。 Hiである場合は、以下を満たす。 エネルギー消費効率100lm/W以上。演色性は平均演色評価数Raが80以上。管径は25.5(±1.2)mm以下。水銀封入量は製品平均5mg以下。定格寿命は10,000時間以上。 ラピッドスタート形又はスタータ形の場合は、以下を満たす。 エネルギー消費効率85lm/W以上。演色性は平均演色評価数Raが80以上。管径は32.5(±1.5)mm以下。水銀封入量は製品平均5mg以下。定格寿命は10,000時間以上。 | | | |
| | 電球形状ランプ | 131 | <ul style="list-style-type: none"> 電球形LEDランプである場合は、次の要件を満たすこと。 ランプの種類及び形状がA形であって、口金の種類がE26又はE17の場合は、ランプ効率:昼光色(D)・昼白色(N)・白色(W)110lm/W以上。温白色(WW)・電球色(L) 98.6lm/W以上。 上記以外の場合は次の要件を満たすこと。ランプ効率:昼光色(D)・昼白色(N)・白色(W)80lm/W以上。温白色(WW)・電球色(L) 70lm/W以上。 ただし、ビーム開きが90度未満の反射型タイプの場合はランプ効率が50lm/W以上 平均演色評価数Raが70以上 定格寿命が40,000時間以上。ただし、ビーム開きが90度未満の反射型タイプは30,000時間以上。 電球形蛍光灯ランプである場合は、次の要件を満たすこと。 エネルギー消費効率が基本方針の電球形状ランプの表3に示された区分ごとの基準エネルギー消費効率を下回らないこと。 水銀封入量が4mg以下であること。 定格寿命が6,000時間以上であること。 (※3参考) |  (電球型LEDランプ) | |  (電球型蛍光灯ランプ) |








令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 | |
|----------|------------|-------|---|---|---|------|--|
| ⑫消火器 | | | | | | | |
| (1) | 粉末(ABC)消火器 | 132 | <ul style="list-style-type: none"> ・消火薬剤に、再生薬剤が40%以上使用されていること。 ・廃消火器の回収システムがあること。 ・製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。または、包装材の回収及び再利用等が配慮されていること。 |  | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% | |
| ⑬制服・作業服等 | | | | | | | |
| (4) | 制服 | 133 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・再生PET樹脂配合率が25%以上。(裏生地を除く。 ※ポリエステルが裏生地を除く繊維部分が50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比10%かつ、裏生地を除くポリエステル繊維重量比50%以上。 ・再生PET樹脂配合率が10%以上かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 |   | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。調達を実施するものうち、警察活動等業務に支障がないと認められる品目とする。 | 100% | |
| | 作業服 | 134 | <ul style="list-style-type: none"> ・故繊維から得られるポリエステル繊維が10%以上。 ・植物を原料とする合成繊維が25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が10%以上。 ・植物を原料とする合成繊維が10%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が4%以上、かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルのためのシステムがあること。 | | | | |
| | 帽子 | 135 | ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については、次のいずれかの要件を満たすこと。 ・再生PET樹脂配合率が25%以上。 ※ポリエステルが繊維部分の50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比10%かつポリエステル繊維重量比50%以上。 ・再生PET樹脂配合率が10%以上、かつ、製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 ・故繊維から得られるポリエステル繊維が10%以上。 ・植物を原料とする合成繊維が25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が10%以上。 ・植物を原料とする合成繊維が10%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が4%以上、かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルのためのシステムがあること。 | | | |  |
| | 靴 | 136 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・再生PET樹脂配合率が25%以上。 ※ポリエステルが甲材の繊維部分全体重量比に占めるポリエステル繊維が50%未満の場合、再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維が、繊維部分全体重量比で10%以上、かつ、甲材のポリエステル繊維重量比で50%以上使用されていること。 ・再生PET樹脂のうち、故繊維から得られるポリエステル繊維が、甲材の繊維部分全体重量比で10%以上利用されていること。 ・植物を原料とする合成繊維が甲材繊維重量比25%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率10%以上であること。 | | | |  |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|------------|------------|-------|---|--|--------------------------------------|------|
| ⑭ インテリア・寝装 | | | | | | |
| (7) | インテリア・寝装共通 | | <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂配合率基準値は、繊維部分全体重量比。(ランナー、フック、ファスナー等の付属品の重量は除く。) 製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。 | | | |
| | カーテン | 137 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維が、繊維部分全体重量比で25%以上使用されていること。 ※ポリエステルが繊維部分の50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比で10%以上、かつ、ポリエステル繊維重量比で50%以上使用されていること。 再生PET樹脂配合率が10%以上、かつ、製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 故繊維から得られるポリエステル繊維が繊維部分全体重量比で10%以上使用されていること。 植物を原料とする合成繊維であって環境負荷低減効果確認されたものが、繊維部分全体重量比で25%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率が10%以上であること。 植物を原料とする合成繊維がであって環境負荷低減効果が確認されたものが、繊維部分全体重量比で10%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率が4%以上であること。さらに、製品使用後に回収及び再使用又は再生利用のためのシステムがあること。 |   | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | カーペット | 138 | <ul style="list-style-type: none"> 未利用繊維、故繊維、再生プラスチック及びその他の再生材料の合計が25%以上。 | | | |
| | 毛布 | 139 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> 再使用した詰物が80%以上。(ふとんのみに適用) 再生PET樹脂配合率が50%以上。 ※ポリエステルが繊維部分の50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比10%かつポリエステル繊維重量比50%以上。 |    | | |
| | ふとん | 140 | <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂配合率が10%以上かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 故繊維から得られるポリエステル繊維が25%以上。 | | | |
| | マットレス | 141 | <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかを満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> 詰物の再生PET樹脂配合率25%以上。 故繊維から得られるポリエステル繊維が10%以上。 植物を原料とする合成繊維が25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が10%以上。 フェルトに使用される繊維は未利用繊維又は反毛繊維。 ホルムアルデヒドの放出量が75ppm以下。 ウレタンフォーム発泡剤にフロン類が使用されていないこと。 | | | |
| | 布製ブラインド | 142 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維が、繊維部分全体重量比で25%以上使用されていること。 ※ポリエステルが繊維部分の50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比で10%以上、かつ、ポリエステル繊維重量比で50%以上使用されていること。 再生PET樹脂配合率が10%以上、かつ、製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 故繊維から得られるポリエステル繊維が繊維部分全体重量比で10%以上使用されていること。 植物を原料とする合成繊維であって環境負荷低減効果確認されたものが、繊維部分全体重量比で25%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率が10%以上であること。 植物を原料とする合成繊維がであって環境負荷低減効果が確認されたものが、繊維部分全体重量比で10%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率が4%以上であること。さらに、製品使用後に回収及び再使用又は再生利用のためのシステムがあること。 |   | | |
| | 金属製ブラインド | 143 | 日射反射率が次のいずれかの要件を満たすこと <ul style="list-style-type: none"> 明度L*値が70.0以下の場合40.0% 明度L*値が70.0超80.0以下の場合50.0% 明度L*値が80.0超の場合60.0% | | | |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|----------|---------|-------|--|---|--------------------------------------|------|
| ⑮作業用手袋 | | | | | | |
| (1) | 作業手袋 | 144 | <p>主要材料が繊維(天然繊維及び化学繊維)の場合は、次のいずれかの要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維が製品全体重量比で50%以上使用されていること。 ポストコンシューマ材料からなる繊維が製品全体重量比で50%以上使用されていること。 未利用繊維が、製品全体重量比(すべり止め塗布加工部分を除く。)で50%以上使用されていること。 植物を原料とする合成繊維であって(環境負荷低減効果が確認されたものに限る)が製品全体重量比25%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率が10%以上であること。 |  | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| ⑯その他繊維製品 | | | | | | |
| (7) | その他繊維共通 | | <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂配合率基準値は、繊維部分全体重量比。(ポール、ファスナー、金属部品等の付属品の重量は除く。) 製品の包装は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。 | | | |
| | 集会用テント | 145 | <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については、次のいずれかの要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維が、繊維部分全体重量比で25%以上使用されていること。 ※ポリエステルが繊維部分の50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比10%かつポリエステル繊維重量比50%以上使用されていること。 再生PET樹脂配合率が繊維部分全体重量比で10%以上かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 再生PET樹脂のうち、故繊維から得られるポリエステル繊維が繊維部分全体重量比で10%以上使用されていること。 植物を原料とする合成繊維であって環境負荷低減効果が確認されたものが、繊維部分全体重量比で25%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率が10%以上あること。 植物を原料とする合成繊維であって環境負荷低減効果が確認されたものが、繊維部分全体重量比で10%以上使用されていること、かつ、バイオベース合成ポリマー含有率が4%以上あること。さらに、製品使用後に回収及び再使用又は再生利用のためのシステムがあること。 |  | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | ブルーシート | 146 | <ul style="list-style-type: none"> 再生ポリエチレンが50%以上。 | | | |
| | 防球ネット | 147 | <p>次のいずれかの要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生PET樹脂配合率が25%以上。 ※ポリエステルが繊維部分の50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比10%かつポリエステル繊維重量比50%以上。 再生PET樹脂配合率が10%以上かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 故繊維から得られるポリエステル繊維が10%以上。 再生ポリエチレンが50%以上。 植物を原料とする合成繊維が25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が10%以上。 |  | | |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 | |
|---------|------------|-------|--|---|--------------------------------------|------|-----------------------|
| | 旗 | 148 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・再生PET樹脂配合率が25%以上。 ※ポリエステルが繊維部分の50%未満の場合、再生PET樹脂は繊維部分重量比10%かつ、ポリエステル繊維重量比50%以上。 |  | | | |
| | のぼり | 149 | ・再生PET樹脂配合率が10%以上かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 ・故繊維から得られるポリエステル繊維が10%以上。 ・植物を原料とする合成繊維が25%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が10%以上。 | | | | |
| | 幕(横断幕、懸垂幕) | 150 | ・植物を原料とする合成繊維が10%以上、かつバイオベース合成ポリマー含有率が4%以上、かつ製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルのためのシステムがあること。 | | | | |
| | モップ | 151 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 ・未利用繊維、リサイクル繊維、及びその他の再生材料の合計重量が繊維部分全体重量比25%以上。 ・製品使用後に回収及び再使用若しくはリサイクルされるためのシステムがあること。 | | | | |
| ⑰自動車 | | | | | | | |
| (2) | 行政事務用自動車 | 152 | 国の「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準ずる |  | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% | |
| | タイヤ | 153 | 転がり抵抗係数が9.0以下であること。乗用車用自動車のノーマルタイヤに適用。 |  | | | |
| ⑱災害備蓄用品 | | | | | | | |
| (10) | 災害備蓄用品共通 | | ・防災用に長期保管する目的で調達するものに限る。(職員用のみ) ・保存期限を勘案した備蓄、購入計画をもとに管理し、継続的に更新する仕組みを構築する。 ・製品及び外箱に名称、原材料名、内容量、賞味期限、保存方法及び製造者名が記載されていること。 | | | | |
| | ペットボトル飲料水 | 154 | 賞味期限が5年以上でなるべく長いもの。 | | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% | |
| | アルファ化米 | 155 | | | | | |
| | 乾パン | 156 | | | | | |
| | 保存パン | 157 | | | | | |
| | レトルト食品 | 158 | | | | | |
| | 栄養調整食品 | 159 | | | | | 賞味期限3年が以上でなるべく長いもの。 |
| | フリーズドライ食品 | 160 | | | | | |
| | 非常用携帯燃料 | 161 | | | | | 品質保証期限が5年以上でなるべく長いもの。 |

令和2年度特定調達品目一覧

【調達目標を掲げて取り組む品目】

| 分野 | 品目名 | 品目コード | 判断基準 | 参考となる環境ラベル等 | 目標の立て方 | 調達目標 |
|-------|----------------------------------|-------|---|-------------|--------------------------------------|------|
| | 携帯発電機 (発電機の定格出力が3kVA以下の発動発電機) | 162 | 次のいずれかの要件を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンエンジンを搭載する発電機はガス排気量が基準値以下であること。 ・ディーゼルエンジンを搭載する発電機はガス排気量が基準値以下であること。 ・騒音レベルが98デジベル以下であること。 ・連続運転可能時間が3時間以上であること。ただし、カセットボンベ型のものにあたっては1時間以上であること。 | | 当該年度の調達総量(金額)に占める基準を満たす物品の調達額の割合とする。 | 100% |
| | 非常用携帯電源 | 163 | <ul style="list-style-type: none"> ・電気容量が100Wh以上 ・保証期間又は使用推奨期限が5年以上 | | | |
| ⑩ごみ袋等 | | | | | | |
| (1) | プラスチック製ごみ袋 | 164 | 次のいずれかを満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・植物を原料とするプラスチック、プラスチック重量の10%以上使用。 ・再生プラスチックがプラスチック重量の10%以上使用。 | | | 100% |

19分野164品